

令和元年度第2回上尾市地域公共交通活性化協議会次第

日 時 令和元年11月11日（月）

午前10時00分から

場 所 上尾市プラザ22 第2会議室

1 開 会

2 議 事

(1) 市民アンケート調査結果について

(2) 市内循環バス危険バス停について

(3) その他

3 閉 会

市民アンケート調査 実施結果

1. 調査概要

(1) 調査の実施目的

- 現時点や将来の生活を想定した、市民の公共交通に関するニーズを把握し、今後の公共交通に関する施策検討の参考とする。
- 地域公共交通網形成計画の策定から5年が経過し、市内循環バスの再編や障害者割引の実施、総合時刻表の作成など、各種施策を実施してきたことから、これらの施策の評価を行う。
- 上尾市地域公共交通網形成計画(H27.9策定)において設定した数値目標の達成状況の評価。
※計画では、策定から5年を目安に評価を行うこととしている

(2) 調査対象者、調査方法

- 住民基本台帳より地区ごとに無作為抽出した満15歳以上の市民2,000人(市内を10地区(6地区+4団地)に分類し、各地区200部を配布、外国人は除くこととする)に郵送配布・郵送回収方式で実施した。

(3) 調査項目

調査項目	把握する内容
1. 個人属性	・回答者の属性を把握 →居住地、年齢、職業、自由に使える自動車の有無
2. 日常の移動・外出実態	・現状の移動発生量を把握 →行先、目的、外出の時間帯、頻度、交通手段
3. 公共交通の利用実態	・公共交通の利用頻度 →市内循環バス・民間路線バス・鉄道の利用頻度
4. これまでの取組みについて	・計画策定後の取り組みの認知度 →ぐるっとくん再編、バスロケ、総合時刻表の認知度
5. 現在の移動に対する満足度・評価	・公共交通に対する満足度を把握 →路線バス、市内循環バスの満足度
6. 公共交通の改善要望	・今後の公共交通への改善要望 →路線バス、市内循環バス、その他の施策 ・改善されたら利用するか

(4) 調査実施スケジュール

- ・9月：アンケート調査の実施（中旬に配布、下旬までに回収）
- ・10月：アンケート調査の集計、分析
- ・11月：本協議会にて結果報告

※参考：地域公共交通網形成計画での数値目標

数値目標 1 市内バスの主な交通手段としての利用率の増加を図る

H25 年度調査：
民間路線バス 7.2%、
市内循環バス 1.4%



事業実施年：H25 年度より増加

数値目標 2 高齢者の外出回数の増加を図る

H25 年度調査：
週 3 回以上 65-74 歳 62.4%、
75 歳以上 46.2%



事業実施年：H25 年度より増加

数値目標 3 市内循環バスの収支率（年間全路線合計）の改善を図る

H25 年度：収支率 28.6%



事業実施年：H25 年度より増加

数値目標 4 市内バスの総合的な満足度の向上を図る

H25 年度調査：
民間路線バスの満足度 29.8%、
市内循環バスの満足度 9.4%



事業実施年：H25 年度より増加

※上記のうち、目標 1、2、4 がアンケートを踏まえた評価対象となる

※参考：地区ごとの人口と配布、想定回収数

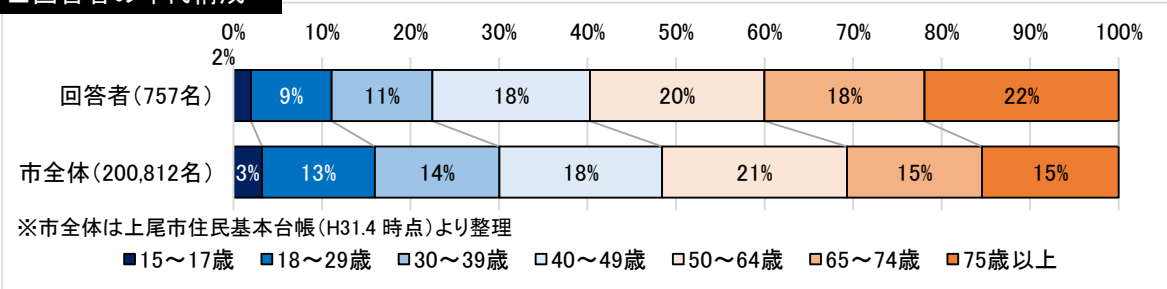
分類	地区・団地名	人口 (4/1時点)	構成比	2,000人抽出	
				配布数	回収数（回収率 40%と想定）
6地区	上尾地区	65,229	28.5%	200	80
	平方地区	8,585	3.8%	200	80
	原市地区	33,314	14.6%	200	80
	大石地区	45,151	19.8%	200	80
	上平地区	30,273	13.2%	200	80
	大谷地区	30,560	13.4%	200	80
4団地	原市団地	2,562	1.1%	200	80
	尾山台団地	2,709	1.2%	200	80
	西上尾第一団地	5,421	2.4%	200	80
	西上尾第二団地	4,735	2.1%	200	80
合計		228,539	100.0%	2,000	800

2. 調査結果

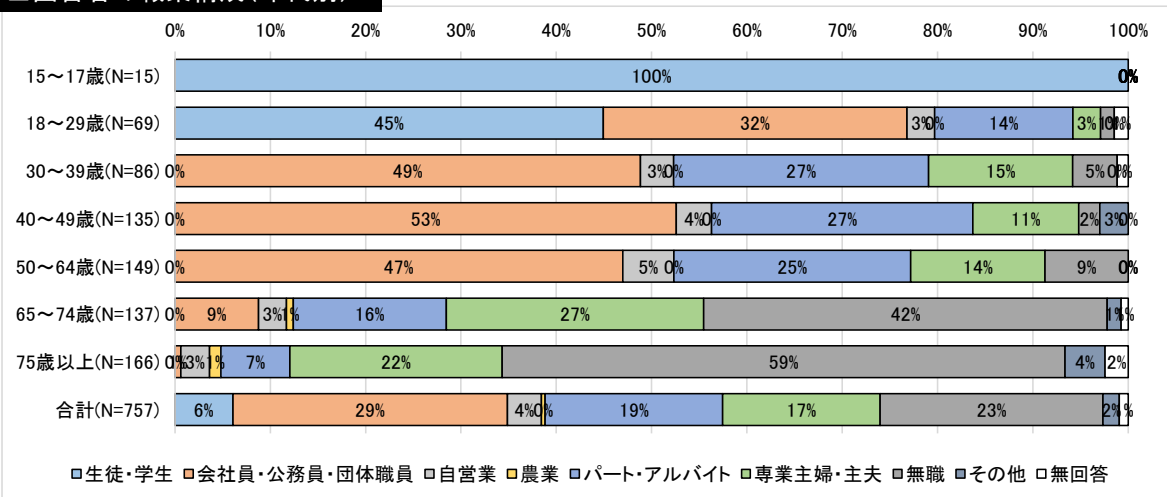
(1) 配布・回収状況、回答者の個人属性

- 市内全域で 2,000 部配布し、**757 部（回収率 37.9%）**の回収を得ている。
- 市全体の人口構成と比較すると、**75 歳以上の回収比率が高くなっているが、49 歳以下の回収が 4 割程度見られており、概ね多様な年代から回収が得られている。**
- 回答者の属性は、会社員・公務員・団体職員が最も多く、続いて無職の方、パート・アルバイトの方、主婦・主夫の方が多い。
- 自動車の保有は回答者の約半数**であり、高齢化の高い団地では保有率が低くなっている。

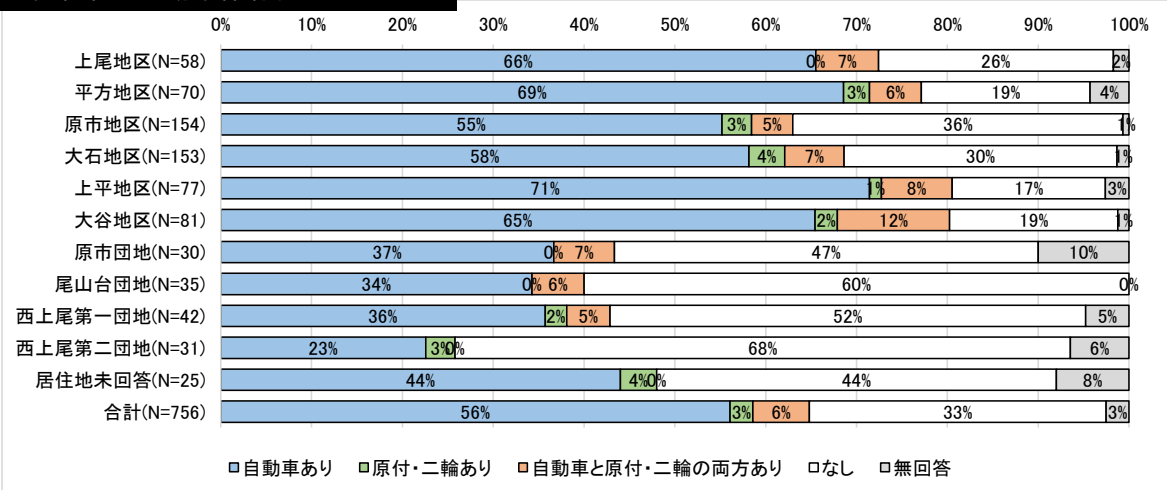
■回答者の年代構成



■回答者の職業構成(年代別)



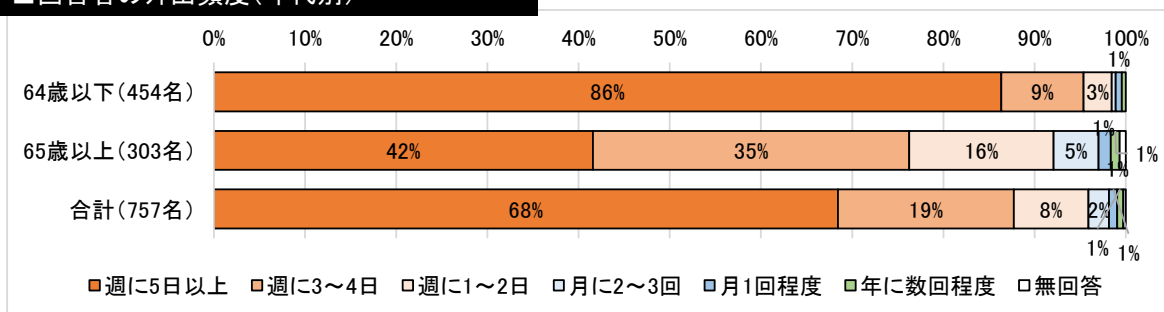
■回答者の自動車保有状況(地区別)



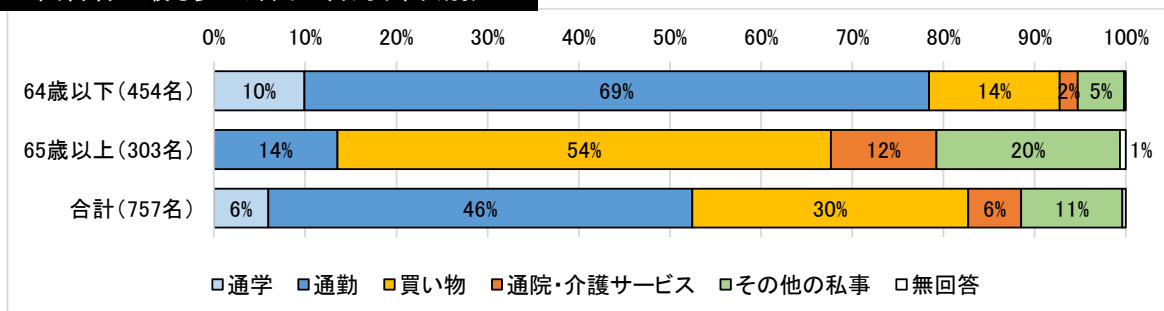
(2) 普段の移動状況

- 64歳以下の方はほとんどが週に5日以上外出しており、65歳以上で週に5日以上外出する比率は4割程度となっている。
- 最も多い外出の目的は通勤で、次に買い物となっている。64歳以下は通勤、通学が主であり、65歳以上は買い物、その他の私事、通院が多い。
- 移動手段は自動車、自転車、鉄道、民間路線バスの順に多く、民間路線バスの利用率は10%、市内循環バス「ぐるっとくん」の利用率は3%となっている。市内循環バス「ぐるっとくん」は原市地区、大石地区、大谷地区、原市団地の方で利用が見られる。

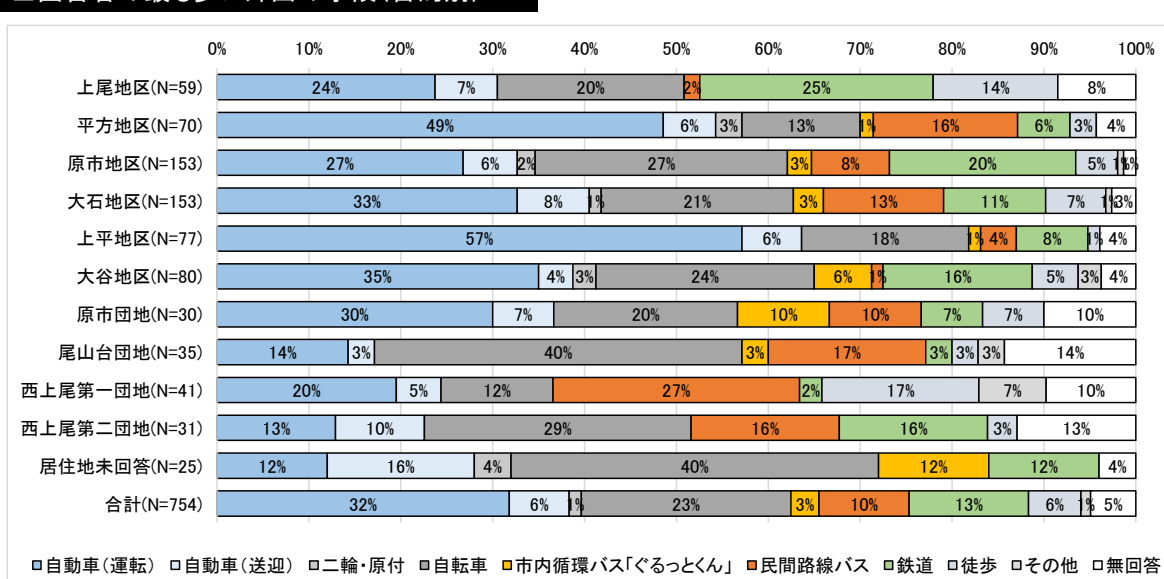
■回答者の外出頻度(年代別)



■回答者の最も多い外出の目的(年代別)



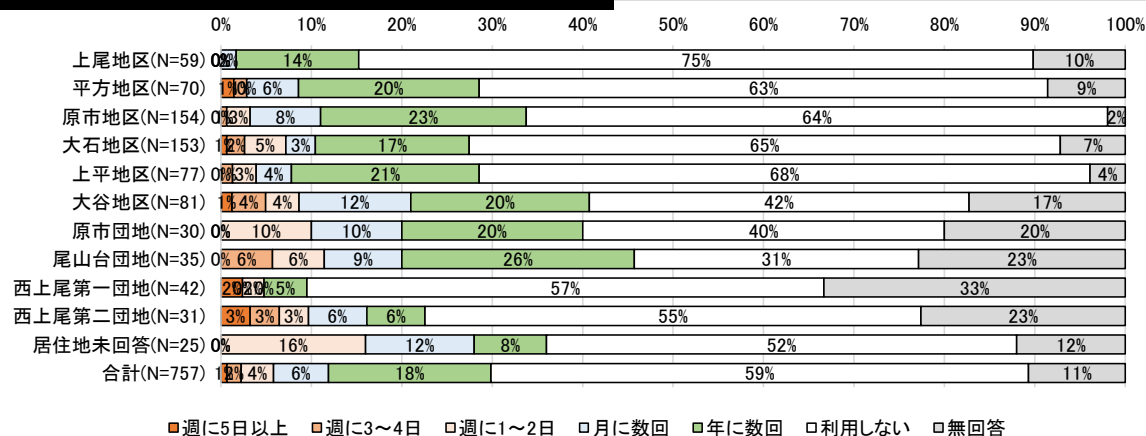
■回答者の最も多い外出の手段(目的別)



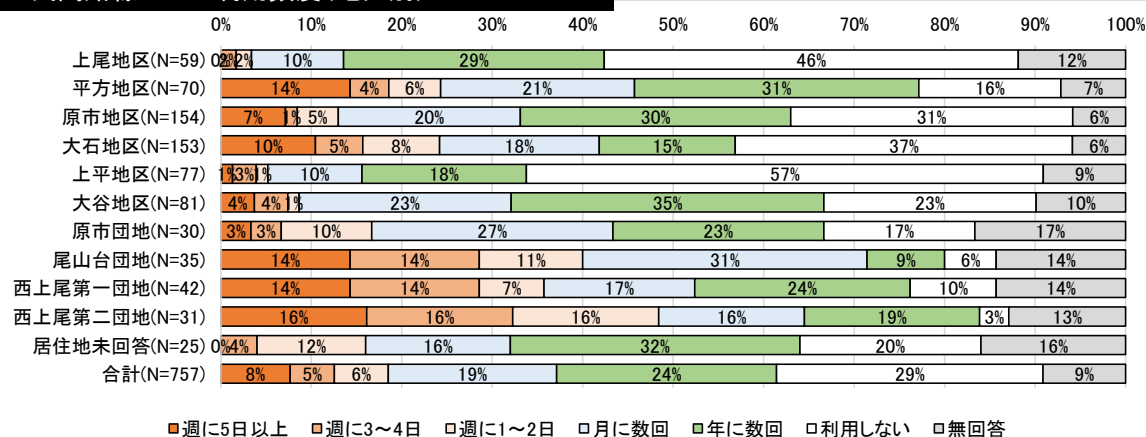
(3) 公共交通の利用状況

- 市内循環バス「ぐるっとくん」を週に1日以上利用する比率は、市全体で6%となっている。地区別では大谷地区、原市団地、尾山台団地の比率が高い。
- 民間路線バスを週に1日以上利用する比率は、市全体では18%となっている。
- 鉄道を週に1日以上利用する比率は、市全体では29%となっている。

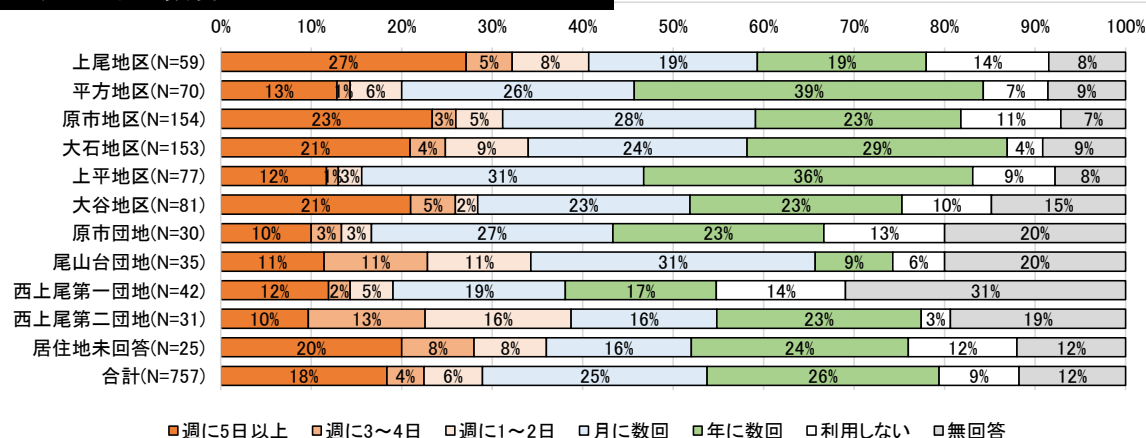
■市内循環バス「ぐるっとくん」の利用頻度(地区別)



■民間路線バスの利用頻度(地区別)



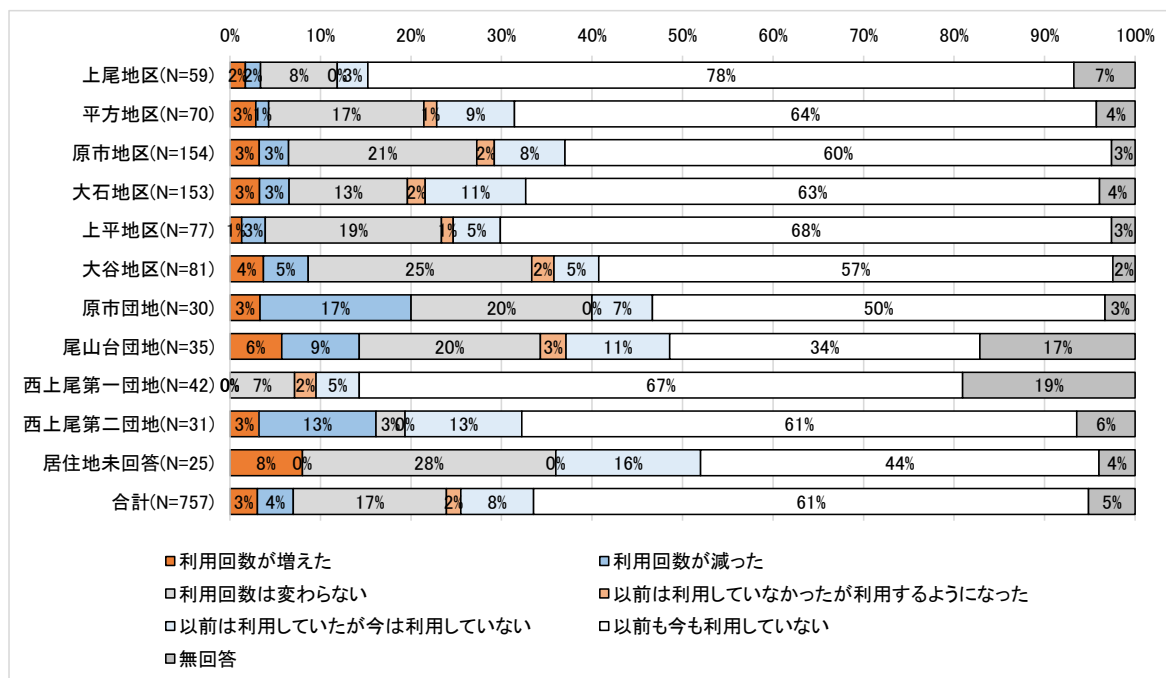
■鉄道の利用頻度(地区別)



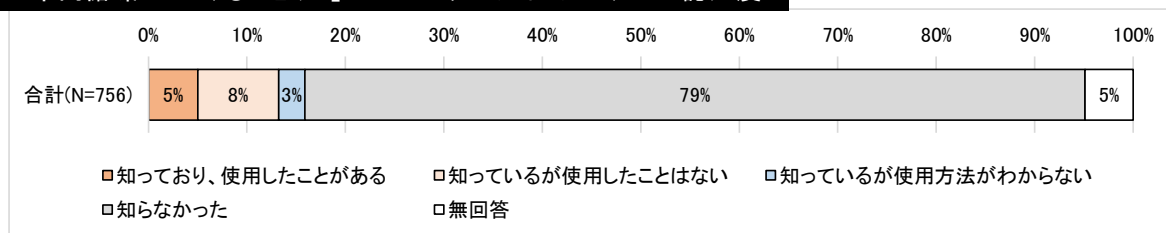
(4) 公共交通に関する取組内容の認知度、ぐるっとくん再編後の利用状況

- 市内循環バス「ぐるっとくん」の再編前後で「利用が増えた」とする方は3%、「以前は利用していなかったが利用するようになった」は2%となっている。「利用回数が減った」は4%、「以前は利用していたが今は利用していない」は6%となっている。
- ぐるっとくんのバスロケを知っており、使用したことがある方は5%となっている。バスロケを知らなかった方は約80%となっている。
- 上尾市の公共交通総合案内を持っており、使用したことがある方は1%となっている。上尾市の公共交通総合案内を知らなかった方は約90%となっている。

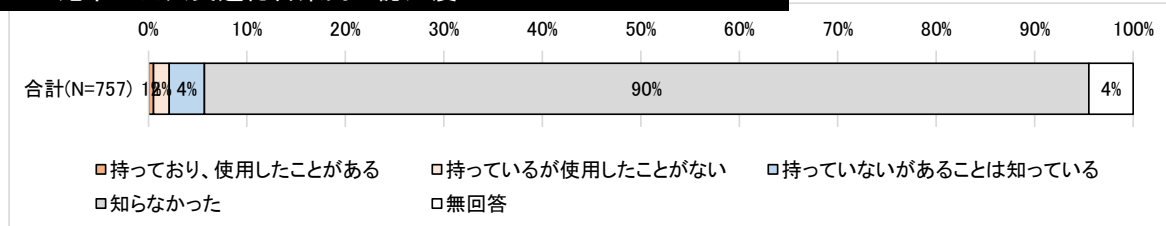
■市内循環バス「ぐるっとくん」の再編後の利用変化(地区別)



■市内循環バス「ぐるっとくん」のバスロケーションシステムの認知度



■上尾市の公共交通総合案内の認知度

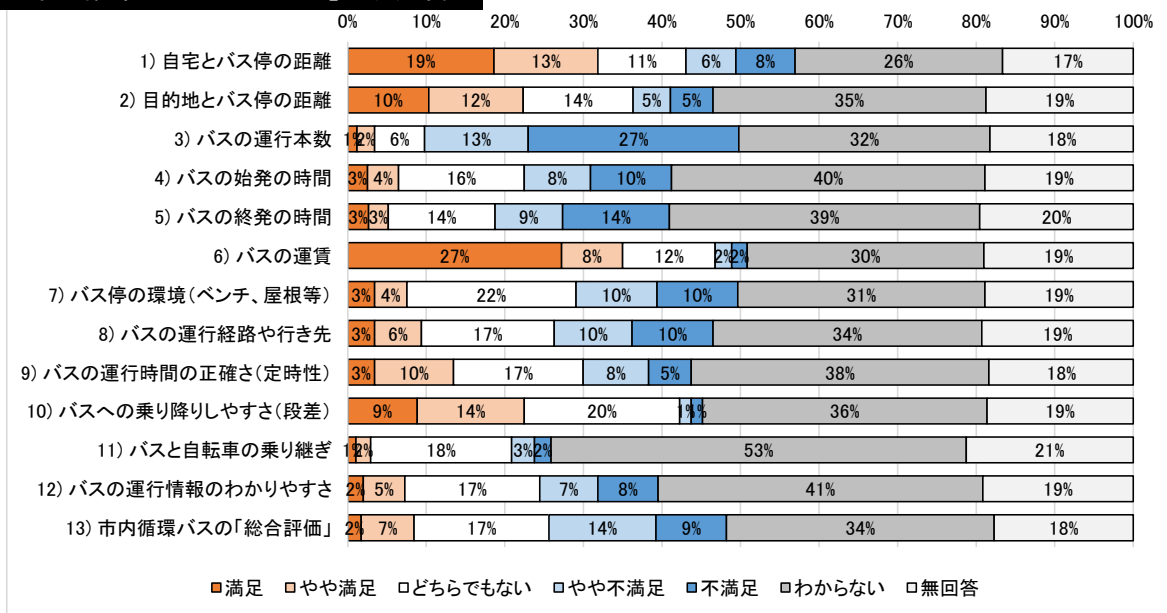


(5) 市内循環バス「ぐるっとくん」、民間路線バスの満足度

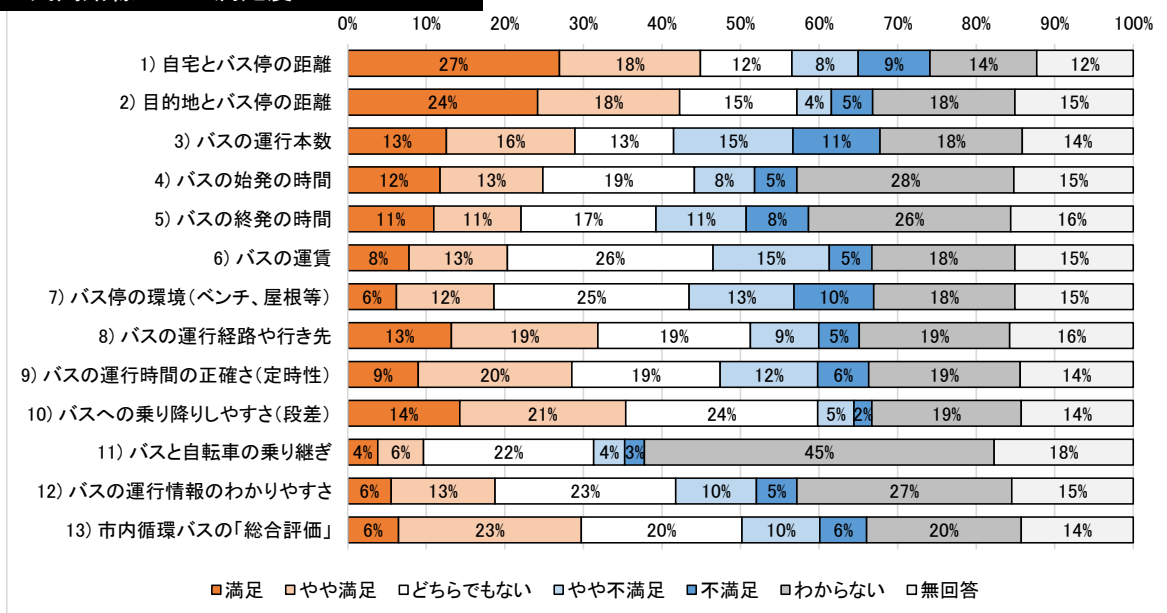
○市内循環バス「ぐるっとくん」は自宅とバス停の距離、バスの運賃を除いて総じて満足度が低く、総合評価で「満足」「やや満足」と回答した方は8.5%となっている。

○民間路線バスは自宅とバス停の距離、目的地とバス停の距離、バスの運行経路、バスの乗り降りやすさなどで満足度が高く、総合評価で「満足」「やや満足」と回答した方は29.7%となっている。

■市内循環バス「ぐるっとくん」の満足度



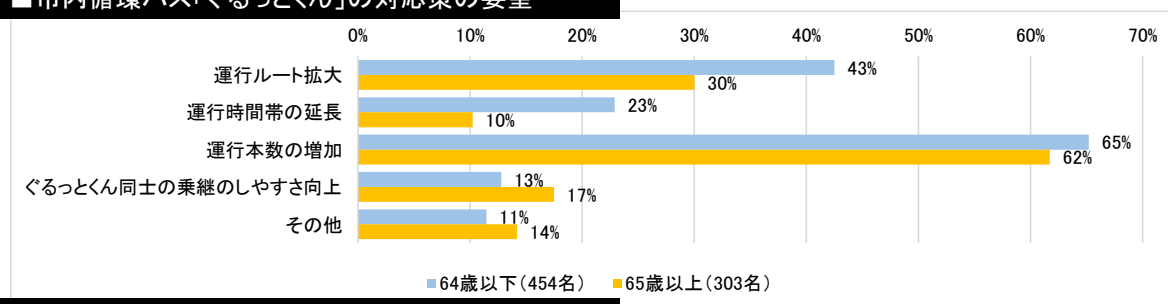
■民間路線バスの満足度



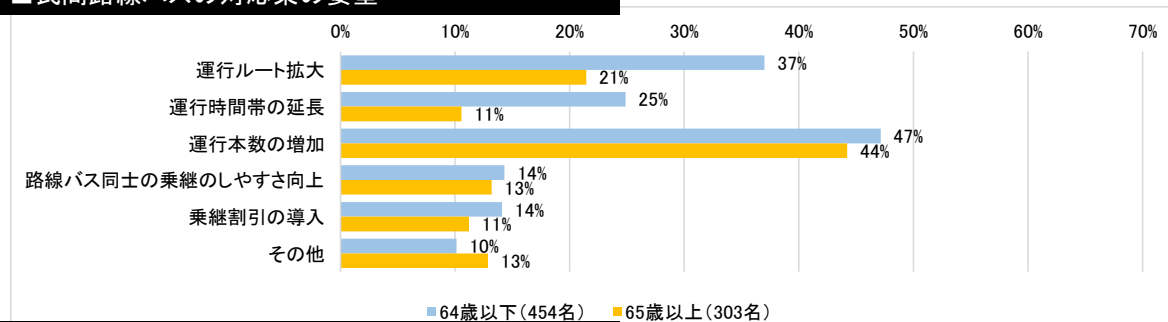
(6) 今後の公共交通に求める対応策

- 市内循環バス「ぐるっとくん」については、運行本数の増加が回答率 60%を超えており、続いて、運行ルートの拡大が回答率 40%程度となっている。
- 民間路線バスについても、同様に運行本数の増加が最も多く、続いて運行ルートの拡大が多くなっている。
- その他の対応策では、64歳以下では「免許返納者への支援の充実」が最も高く、65歳以上では「高齢者向けの移動サービスの充実」が最も高い。また、64歳以下では「公共交通の時刻表の配布」が高くなっている。
- 今後の対応策が実施された場合の公共交通の利用意向については、約40%の方が「積極的に利用しようと思う」と回答している。65歳以上はこの傾向が高い。

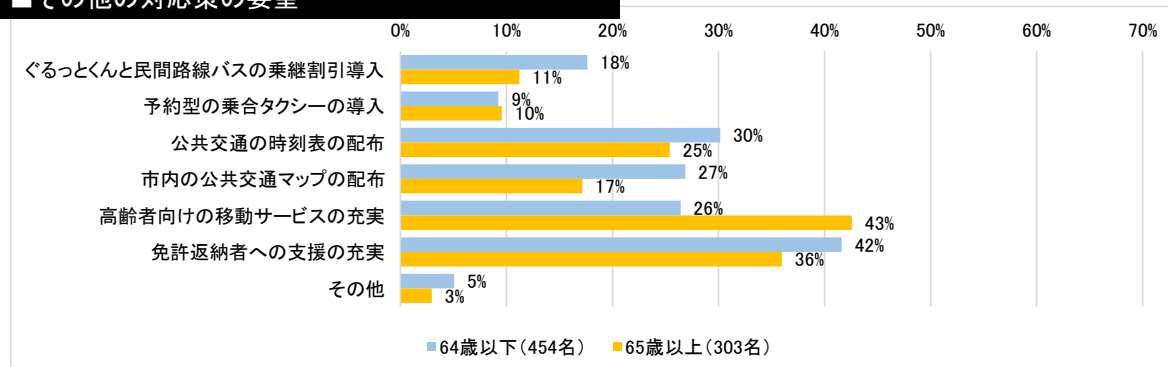
■市内循環バス「ぐるっとくん」の対応策の要望



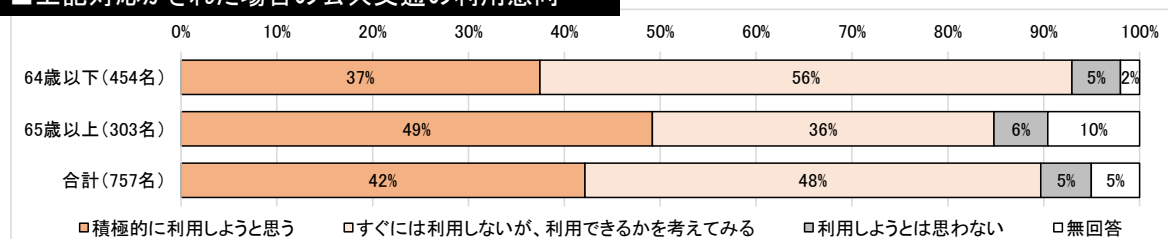
■民間路線バスの対応策の要望



■その他の対応策の要望



■上記対応がされた場合の公共交通の利用意向

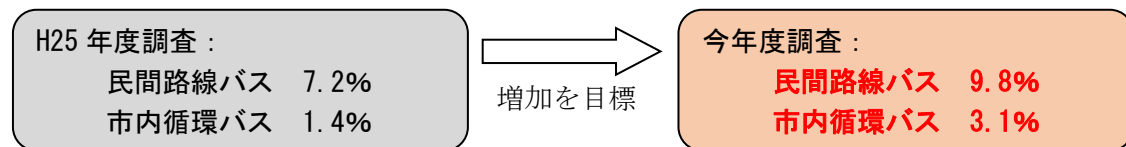


3. 地域公共交通網形成計画の数値目標の変化

- 上尾市地域公共交通網形成計画で設定した数値目標のうち、市民へのアンケート調査で把握する内容は以下の3つとなる。
- 数値目標1については、民間路線バス、市内循環バスともに主な移動手段としての比率が高くなっている。
- 数値目標2については、65～74歳の外出回数は減少傾向にあるが、75歳以上は増加傾向にある。
- 数値目標4については、民間路線バスはほぼ横ばい、市内循環バスは若干の減少となっている。

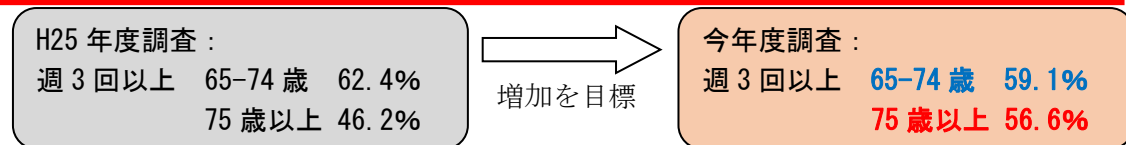
<計画での数値目標>

数値目標1 市内バスの主な交通手段としての利用率の増加を図る



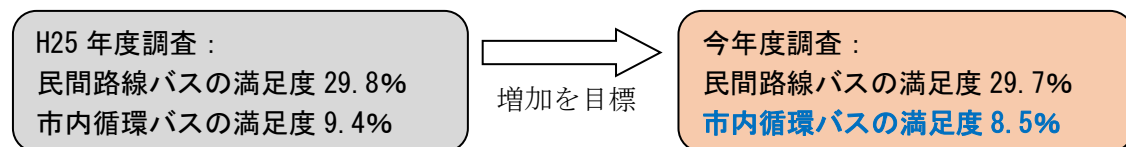
※最も多い外出の移動手段として、市内循環バスまたは民間路線バスを利用する比率

数値目標2 高齢者の外出回数の増加を図る



※最も多い外出の外出回数

数値目標4 市内バスの総合的な満足度の向上を図る



※市内循環バス、民間路線バスの総合評価

※参考(アンケート調査票)

①依頼文 ※A4で1枚



上尾市の公共交通に関する アンケート調査にご協力下さい



日頃から、上尾市の市政運営につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、上尾市ではバスや鉄道などの公共交通が、より使いやすくなるようにさまざまな取り組みを展開しています。その一環として、現在の市内循環バス「ぐるっとくん」を含む誰もが使いやすい公共交通体系を再構築することを目的とした「上尾市公共交通網形成計画」を推進しています。

この計画推進の調査・検討のために、みなさまの日常の移動や公共交通に対するご意見・ご要望を幅広くお伺いし、参考にさせていただきたいと考えております。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご協力の程よろしく願いいたします。

令和元年9月 上尾市長 畠山 稔

■ アンケートは、**10分** 程度で回答できます。

■ お答えいただいたアンケート調査票を同封の返信用封筒にお入れいただき、

9月29日(日)までに

お近くの郵便ポストにご投函願います(切手は不要です)

■ アンケートは、市内にお住いの満15歳以上の方を対象に住民基本台帳から無作為に2,000人を選ばせていただきました。お答えいただいた内容は、統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

■ 回答方法などご不明な点につきましては、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

上尾市 市民生活部 交通防犯課

住 所：〒362-8501 上尾市本町三丁目1番1号

電 話：048-775-5138(直通) FAX：048-775-9927

あなたにけんきをおくるまち



上尾市

問5 問4でご記入いただいた外出先に行く際の時間帯、外出回数、主な交通手段をお答えください。

外出時間	行きは（午前・午後 _____ 時台） 帰りは（午前・午後 _____ 時台）		
外出回数 （1つに○）	1. 週に5日以上 4. 月2～3回	2. 週3～4日 5. 月1回程度	3. 週1～2日 6. 年に数回程度
主な交通手段 （1つに○）	1. 自動車(自分で運転) 2. 自動車(送ってもらう) 3. 自動二輪・原付 4. 自転車 5. 市内循環バス「ぐるっとくん」 (⇒乗車するバス停名: _____ 停留所) 6. 民間路線バス (⇒乗車するバス停名: _____ 停留所) 7. 鉄道 8. 徒歩 9. その他 (_____)		

設問3 公共交通の利用状況についてお伺いします。

問6 普段あなたは、上尾市内の公共交通（①市内循環バス「ぐるっとくん」、②民間路線バス、③鉄道）をどのくらい利用していますか。（それぞれ1つに○）

①市内循環バス「ぐるっとくん」	②民間路線バス	③鉄道
1. 週に5回以上	1. 週に5回以上	1. 週に5回以上
2. 週に3～4回	2. 週に3～4回	2. 週に3～4回
3. 週に1～2回	3. 週に1～2回	3. 週に1～2回
4. 月に数回	4. 月に数回	4. 月に数回
5. 年に数回	5. 年に数回	5. 年に数回
6. 利用しない	6. 利用しない	6. 利用しない

設問4 公共交通に関する近年の取り組みについてお伺いします。

問7 市内循環バス「ぐるっとくん」が平成28年2月に再編されていますが、再編してから、利用回数に変化はありましたか。（1つに○）

1. 利用回数は増えた	2. 利用回数は減った	3. 利用回数は変わらない
4. 以前は利用しなかったが 利用するようになった	5. 以前は利用していたが、 今は利用していない	6. 以前も今も 利用していない

問8 市内循環バス「ぐるっとくん」のバスの現在位置や遅延情報をスマートフォンなどの端末で知ることができるサービス「バスロケーションシステム “BusGo!”」をご存知ですか。（1つに○）

1. 知っており、使用したことがある	2. 知っているが使用したことがない
3. 知っているが使用方法がわからない	4. 知らなかった

問9 「上尾市の公共交通総合案内（A4で50ページ程度の冊子）」をご存知ですか。（1つに○）

1. 持っており、使用したことがある	2. 持っているが使用したことがない
3. 持っていないが知っている	4. 知らなかった

設問5 上尾市の公共交通への満足度についてお伺いします。

問10 上尾市の公共交通に対する満足度について、お伺いします。以下の①市内循環バス「ぐるっとくん」、②民間路線バスの項目ごとに満足度をお答えください。(それぞれ1つに○)

①市内循環バス「ぐるっとくん」

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	わからない
1) 自宅とバス停の距離	5	4	3	2	1	?
2) 目的地とバス停の距離	5	4	3	2	1	?
3) バスの運行本数	5	4	3	2	1	?
4) バスの始発の時間	5	4	3	2	1	?
5) バスの終発の時間	5	4	3	2	1	?
6) バスの運賃	5	4	3	2	1	?
7) バス停の環境(ベンチ、屋根等)	5	4	3	2	1	?
8) バスの運行経路や行き先	5	4	3	2	1	?
9) バスの運行時間の正確さ(定時性)	5	4	3	2	1	?
10) バスへの乗り降りしやすさ(段差)	5	4	3	2	1	?
11) バスと自転車の乗り継ぎ	5	4	3	2	1	?
12) バスの運行情報のわかりやすさ	5	4	3	2	1	?
13) 市内循環バスの「総合評価」	5	4	3	2	1	?

②民間路線バス

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	わからない
1) 自宅とバス停の距離	5	4	3	2	1	?
2) 目的地とバス停の距離	5	4	3	2	1	?
3) バスの運行本数	5	4	3	2	1	?
4) バスの始発の時間	5	4	3	2	1	?
5) バスの終発の時間	5	4	3	2	1	?
6) バスの運賃	5	4	3	2	1	?
7) バス停の環境(ベンチ、屋根等)	5	4	3	2	1	?
8) バスの運行経路や行き先	5	4	3	2	1	?
9) バスの運行時間の正確さ(定時性)	5	4	3	2	1	?
10) バスへの乗り降りしやすさ(段差)	5	4	3	2	1	?
11) バスと自転車の乗り継ぎ	5	4	3	2	1	?
12) バスの運行情報のわかりやすさ	5	4	3	2	1	?
13) 民間路線バスの「総合評価」	5	4	3	2	1	?

→次頁に続きます

設問6 上尾市での今後の公共交通のあり方についてお伺いします。

問11 あなたが今後、上尾市内で公共交通を利用しようと考えた場合、どのような対応策が必要だと考えますか。①から③それぞれ、当てはまると思うものを2つまでお選びください。

①市内循環バス「ぐるっとくん」について

1. ぐるっとくんの運行ルートを拡大する
2. ぐるっとくんの運行時間帯を延長する
3. ぐるっとくんの運行本数を増やす
4. ぐるっとくんの運行時間を調整し、ぐるっとくん同士の乗継をしやすいとする
5. その他 ()

②民間路線バスについて

1. 路線バスの運行ルートを拡大する
2. 路線バスの運行時間帯を延長する
3. 路線バスの運行本数を増やす
4. 路線バスの運行時間を調整し、路線バス同士の乗継をしやすいとする
5. 異なる会社間でも乗継がしやすいよう、乗継割引を導入する
6. その他 ()

③その他の対応策

1. ぐるっとくんと民間路線バスを乗り継ぐ際に利用できる乗継割引を導入する
2. 予約型の乗合タクシーを市内で導入する
3. ぐるっとくんや民間路線バス、鉄道の時刻表を配布する
4. 市内の公共交通マップを配布する
5. 高齢者向けの移動サービスを充実する
6. 免許返納をした場合の公共交通やタクシーの利用に関する手当を充実する
7. その他 ()

問12 問11であなたがお答えになった対応策が実施された場合、今後、公共交通を積極的に利用しようと思えますか。(1つに○)

1. 積極的に利用しようと思う
2. すぐには利用しないが、利用できるか考えてみる
3. 利用しようとは思わない

問13 最後に、公共交通全体のあり方について、ご意見・ご要望があればご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

<同封の返信用封筒にて、9月29日(日)までに返送してください(切手は不要です)>

危険バス停調査について

①背景

神奈川県内において、平成30年8月に発生した、バスを降車後にバス後方から道路を横断しようとした女児と対向車との交通死亡事故を受け、同様の事故を未然に防ぐため、市内循環バスのバス停についても、交通安全上の調査を実施した。

②調査内容

- ・対象 市内循環バス“ぐるっとくん”のバス停（510ヶ所）
- ・要件 交差点及び横断歩道が5m以内に存在する箇所

③調査結果

49件（交差点及び横断歩道から5m以内）

④上尾警察署の見解

現在のバス停の位置は道路幅員や乗客の待機スペースなども考慮して設置している。より安全な移設先が確保できない場合は、バスの停車位置を交差点や横断歩道から離すなどの対応により、安全の確保が望まれる。

⑤対応

- ・各運行事業者に対し、交差点及び横断歩道に近いバス停については、停車位置を離す等、運行の際は注意するよう依頼した。
- ・バス停の移設が可能なものについては、適宜対応を行う。